

絵入 宝物集 下

栃山文学園大学デジタルライブラリー

栃山文学園大学図書館

人繪寶物集

下

寶物集 下

第三は戒とたりうて佛より大乗の禁戒
 佛より入はまば八万里すの惡業れ極の軍の只とぞして
 ひのえまうとつもすりきくすまうすりき。梵網經
 公戒とくのり人公淨が人々の戒とくとくとく。戒とたり
 ひもべれどくまらくの禁とくとくとくとく。戒とたり
 ひ飛ばたまとうがむくれすんじんをやくの是ひとと
 へ智を漏るがく人びんぐんとくのひととく。西院
 戒とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 の善釋。圓覺もとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 ひあくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 戒もとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 てよしとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 長考のそりよべ戒とくとくとくとくとくとくとくとく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



63B 841

よふ教生ぢやへぬの命とこうえねりか。教の國教の國教
の業とひよがつゝあらうねのこみすめ。のうひゆ
とくならひ。ふきててもあらと角くまつまつへね飛の
じせ里よかても食をまくよあらむ御の御おれたる。ま
くわくそばくわねとあそとてうらきとじまく。教
くわくそばくわねとあそとてうらきとじまく。教
生戒と辱がうとそもく。そくそくまくのれとづく
うせきとびるがほはらぬを。あきの首とわくとて死を
とくとくすとよ首ととまくとまくとくとくとくと
どりのくと聞てかんよむあくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
よじうひくとそびくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
かく付玉鷲化けたる恭ひ。て能くとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ちり。羅漢もとまうりとやくなは國王基と切ぎわわを
坐はうぐととのきと羅漢とまうりと作る事とあて
則くびとくらすば。そのはまう基とくらしてくじてら
んと先と活一絆ひう時とまうとくとくとくとくと
ねとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
かくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
佛はまうのりうく。まあ生ううううて四ノ中小ましと
みらん。農夫うわりとくとはくわきとく。小歎とく
の小え。がくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
佛はまうのりうく。まあ生ううううて四ノ中小ましと
いそんやんうて。がくまじ佛と。おお生死より結佛の利
より生と。大悲よまんをううううじふ不教生戒と

まことに人間と云ふ。佛は聖人であつて人の命
 を重んずるが爲め
 云々不倫盜といへば草一束すら計りやんもや。云々成
 て。云々人をばいしやうのをうれとぞ。云々憍梵波詔。云
 どくみふ道のやどりよとくろ栗とどりそり。云々
 人百生のる。云々とくらうりふとくわは佛の相とぬと
 みくろの公生とせと小生とがなれのとまうせとどんうさ
 きと後ハ針とて。云々盜ととううめり。云々生後生。云
 さゆ。云々事ならうとまくハア。云々今代のあす。云々地
 云々かげ。云々はすとねれど。云々相手と。云々くみくに。云々
 大觸の體と。云々本わら。云々もともの相と。云々や。云々わ
 ざり。云々すくのとくまとすて。云々とせ。云々の相う体。云々
 みいきよか。云々宿ふか。云々わの事と。云々とくとく。云々
 とあひ。云々むじ。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々
 くくは。云々生死と。云々とととと。云々。云々。云々。云々
 第三云不邪端。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 とあよす。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 うりわら。又不端とも佛のとて。云々。云々。云々。云々。
 らじ。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 よもうごひとと越よ海。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 べくとつりわひ。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 ひかんとおもひ。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。
 云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。云々。



とくすのものゆよか離れぬもかくて又あ百姓ノ召六
色輪也。そびきひそむに座りて羅漢の衆とゆるじ
ノ金剛子の本末論とぞもれしを別ばくすゆりとぞ
まへる。これぞ嬪歎いす一佛道の真義け者に教經よいかく
女人地獄使能が仙種子外顔似童心菩薩内心極又ものべりて
くわゆらうども。ハ鬼界とくこととくさく。じく阿育王
のまじれ合ひすア迦耶羅太子とねひりけひきれ。世
のあきらめをもじてはや小ゆ入るにされど。眼とくと詰
つとものとなりどもはのとくとよとてはくすす。世
えや子といふのうちわらひか高生よじぬりのを。
色子が嬪歎ひそむに坐りてはくすす。下。今般
左脚の少しこなゆる。結つたまはく。嬪歎ひる。右脚
の附とうくいまゆる。男女れり。うづくらじも行の益
り。す。よし。嬪歎とくとくして。まことにとくとく

とぞひうふぞせばみ不妄淫戒とアヘンととシガシテ
しゆえのあ地力とシム吉の御命とモリヒテ。そこ
と處、内めくちからまき地獄にて懲人よじて獄卒い
も。高達のやへたあともくてギミテミカトヤノ今ノ義
カニモ皆くにゆきを下びし。地獄のぬま前事
禮ナリ。徳主は高達のによどりるのと。とモシテモナラ
クシテ。おとて。黒部モシテモナリ。源氏相模とは
シメ地主よかて苦患とくわしく涼代と御主を
シメ。日經とかれとあらすりとくわく。辛夷も
ほまりて。モアヒキ。あらすり人の麻とんすかひて。うと
唐葉と城りけとくわしほととろす。やとくわく。あらすりを
は。あ達だりとくわく。おとす。やとくわく。あらすりを
かくす。モガハナム。お子様のうなじと。あらすりの
飛龍と。おれに惠心の後都ハ。身アリテ。不朝勸の約事と
と。アリ。とが林ノ。おとす。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
きみ道の若者。行のゆふ年と。約事と。アリ。アリ。アリ。
ひまねじ。じうわ十戒のがよむじ。と十戒の誓は生れ故ひ
きひ。アモトロッサ。おまくろの御懲とを記と。アモトロッサ。
ウラの御懲と。おひろを。あせつ戒がよむじ。と
あり。アモトロッサ。おまくろの御懲とを記と。アモトロッサ。
きひ。今世は世うで。そとひ。おひ。又戒とたれ。アモトロッサ。
アガ。どうの御懲。懲と。行志と。あふ大歎。アモトロッサ。
かくと。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。一足りず。アモトロッサ。
くうあら。おひ。と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。
ねがりと。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。
ウラの御懲と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。
ふうひ生死と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。おひ。と。アモトロッサ。
て。おせと神が。金。一生の。まじめの。おひ。と。アモトロッサ。
おひ。と。アモトロッサ。

僧内戒とアハ爾のじきも事也。實取の酒はもひれを禁
 べてすとて、方の戒を乞がゆくよめまゝめらへせじ。ち
 とよ長老あり。二の参りうちよ酒とは御りづがよしてそ
 んれのめのく。長老のあくふへて清龕の中とどまし
 てすくらうとある。長老のあくふへて長老小じふとひりふ
 て。もとあも傍老同むり。ちきりある。すとて。おも我
 よふとく。よまとて。おの半。よくらむ。女とく。よ連
 うとく。よまとて。長老がひくねりわふ。富貴はもひる
 えりて。よまとて。長老がひくねりわふ。富貴はもひる
 えりて。よまとて。よまとて。よまとて。よまとて。よまとて。よまとて
 て。あはまのたどりと。あはまのたどりと。あはまのたどりと
 て。小離那さん。人
 へらひまじと。と。酒瓶と。と。ふ男と。と。女と。と。それ
 と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
 比沙門たるひのうと。毘沙門たるひのうと。毘沙門たるひのうと。
 藥佛の時。一人。バシナリ。うつ。うつ。
 酒は辟て。辛は辟て。苦は辟て。火は辟て。水は辟て。
 色は辟て。黄は辟て。白は辟て。青は辟て。赤は辟て。
 一也。細八十漸。律。八十。細。八十。細。八十。細。八十。
 きの二葉の房。いやうづ。涌。よく根。ざ。ひ。不。作
 て。あくま。と。ひ。く。と。ひ。く。と。ひ。く。と。ひ。く。
 人。よ。あ。ふ。生。不。八。百。世。の。る。生。不。死。よ。生。い。う。ん。や。内
 う。く。せ。じ。よ。と。あ。て。と。や。と。う。く。と。ひ。く。と。ひ。く。と。ひ。く。
 の。よ。か。く。わ。く。と。は。と。ひ。く。と。ひ。く。と。ひ。く。と。ひ。く。と。ひ。く。

薬佛よもろくの戒叢とは。モ佛より。アハル。然佛之
 六波羅密と。わ。む。ひ。て。ぶ。さ。ひ。わ。ひ。六波羅密と
 ナ。す。の。種。波羅密布施の多。ニ。も。戸。財。波羅密戒と

内は是三ツの圍栏波羅蜜とんじてあくまひの
ごとくもさひかうて人のいそじをすまふ事にちひる
あり。又へ鬼梨耶波羅蜜とハ教をとくことじる也。又復
が在蜜、福惠ともててまほの底生と極求めり。下也。
ひ六のとて度の行もとせよとあんじくす。又んは波羅
蜜に歸是とてまくき一つとくもひ尚闍梨仙人。と
さる小鳥の巢とくしてよどむとくし本のうつまでも
たゞす。また子は止ぬるよ入迦葉多那ハ吉ムラニに
こもつてを引ひ落ひ。さくさくす。大卒萬城とと
てよ。教とまらしやと。度とはもハ子ねとゆき。雲蓬
建立。佛と供食。經とくもたとひとじよく。蜜
傳道。かくもひなり。されどの人ものよき跡と
て。内は當のスヘの。佛と供食。とゆき。云々ひじよ
劫恩と。と。長老の子と。じゆけとき。加毘羅長老の
じも。さんゆんうと。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。
と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。
來みハ。ゆき。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。
象明よ。ゆき。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。
と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。
と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。ひ。と。
ま。行奉。ま。塵。ハ。軍。九。院。と。そ。と。氣。つ。の。行。と。の。を。
と。が。下。し。と。は。と。め。と。と。ひ。と。と。ひ。と。と。ひ。と。
オ。ス。よ。海。よ。う。も。や。う。せ。ん。と。れ。と。お。う。と。佛。よ。う。と。
ト。ア。ハ。ゆ。う。と。れ。佛。と。菩。薩。は。底。生。と。あ。り。と。と。ひ。と。ど。の。と。れ。
と。と。モ。ト。ハ。底。多。ハ。八。百。の。底。茶。味。由。來。ハ。十二。の。於。ひ。波。地。に
ひ。て。す。と。じ。と。ら。ひ。き。と。く。と。れ。と。く。と。人。全。の。傳。道。
ハ。被。ふ。ク。ん。や。内。十。代。あ。く。わ。く。底。生。と。わ。り。と。み。
と。成。施。と。あ。海。の。底。生。と。あ。り。ひ。と。底。茶。味。由。來。ハ。八。十。代。の。傳。道。
じ。と。く。和。と。と。く。な。り。と。考。度。編。よ。行。ヘ。車。り。

の。如牛ひりとし行の。うの。外の牛はひ
なれい。極よりうが牛が。やく経業とはも。よも。やれ
れと。おう。津も。小ぬうて。一切衆生と。うちひさるよ。まかう。
あ。と。門う。菩。僧。衆。菩。の。外我。餘。欲。食。地。内。盡。除。一。諸。
障。旱。面見彼佛。汝。佛。耶。汝。汝。佛。生。安樂園。とりう。あ。な
福。う。心。れ。わ。ん。が。内。よ。お。よ。ば。と。く。く。ま。う。す。や
き。と。う。も。ひ。て。阿。弥。陀。佛。衆。と。ん。そ。と。う。と。そ。う。と。う。と。
を。の。ま。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
後。財。盡。除。諸。障。旱。面。見。リ。佛。地。性。生。安。樂。園。と。う。と。う。
人。公。よ。う。手。と。絲。う。ね。よ。あ。う。と。会。せ。よ。財。よ。起。で。あ
よ。道。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
人。公。よ。う。じ。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
じ。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
じ。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
じ。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
ら。す。滅。地。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。
う。う。う。う。う。勝。暴。丈。人。び。く。ち。わ。く。う。み。ち。み。く。う。と
て。人。水。る。て。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。
う。

△ひめとどくしたるふじやまを柳後よりむせてし。耶
半身よ葉葉と樹物して。佛より下へとす。人界より生ま
けくるをもとすんぞうは水あり。通綽祿源の安集。集よ。
猿経縫と引く乃縫く。人百一乗とづるよハ力多す。力多す
ゑいもんや禪くふとすすすれ。多業をのす。無量を
なまき。色スかニ達。乃業からつら。いそんや。一生ひ
はるが不の業と。ばんと。永訣は仰う。もとと。のもとと
よしくも。もとと。地獄經と。おもか。乃樹の因。ま
禪。もとと。もとと。もとと。もとと。もとと。もとと。もとと。
もとと。もとと。もとと。もとと。もとと。もとと。もとと。
もとと。もとと。室。よ。と。首大刀。ふやれ。お。機。もとと。もとと。
もとと。もとと。也。机。百丈力。え。れ。ど。さん。け。私。參
の。も。と。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。
も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。
も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。

△今。も。じ。も。ひ。も。き。り。も。ひ。も。か。れ。も。ひ。も。く。も。ひ。も。



レーテニ壁はあまくありだらうとあじがるあはれ百人石を
とひきひ風よ風を草を身とせし大溝とすりけりみづと
くまわとく聲あくにうちも火燐とく火風とよひうど
ケの地。水とくでいとがんぢらきれわらわとくの船と
くわやとくふぶんぐのじぶんとくどり龜とくかひを
こくまうびとくまゆか一人のまくべんじうりをうるむ
そわとくとくじのとくわくいとくまゆの船とくの船と
阿木んぐふまか方わゆかくとくわく代わをうきあくう
ら白の車とくとくよてゆんとすがくう於廻とすまえ
船とくとく船よわくぞやとくひがく化生の船とくとくりえ
浦よもぎぬすやうみじ人の身ひととくわくう頬幅よくを
きとくよまき和からく利居士とくんせうくわくとくの
國とくまめあた神田小野の令とくうきず父母よまき事とくの
西ひとくのとくとくおとじとくとくまくとくとくとくとく

命としむるにあらむれどもひてがくをかじりて小御所
物のわざうれどもひてがくをかじりて今生の食めひら
まくべし者ハひともあらうとぞりて。かく
あらうゆゑ長老のとくあらうとぞりて。八穂のま薩乃山葬
功皇名美圓延治の附。首のねまとしげひ。その延治さ
じきのうち。網人内より奥とひれて八月十五日
らきよ教坐食とてはせらのまきがからとけうちがまを
毛食とめじりへ奉ひらとぞりて。萬葉よじりくとぞりて。
すとせの事へ人數よりを度りうらだねの余とぞりて
てどくわざみをへてねの余とあらけぬまは慈産あと
お車を。おとんとくらてほりうるまとぞりて。され
やどりふがくらやへるのをもととあらゆるたれ
ねよ御ち。れね松も重説陽氣とぞりて。じよくひとぞりて。
うきのくのくよだくと。座まよゆあらとぞりて。又母
教書とぞりて。中川村一のとぞりて。おとんとぞりて。
おとせんぐくとぞりて。母のうのうにうらうのとぞりて。おとせんぐ
林の父とおじと百八十からと。母のとくらりとぞりて。おとせんぐ
とくらりとおじと百八十からと。母のとくらりとぞりて。おとせんぐ
人情よとくとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
漢のる祖楚項孫とぞりて。おとせんぐとぞりて。項孫うへ
人情とくとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
ておとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
おとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
おとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
おとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
害しておとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ
世人の子造諸罪墮を三世長良若とぞりて。おとせんぐとぞりて。
おとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐとぞりて。おとせんぐ

みへ事得へ又木食とすそ別子をもるへ也眼をもんよ酒を
とぬきをあらまく之の閻世王佛としよすまくをてば詔は猶
空ありしよ被入と佛の勧りあがねどもあじきまうの是
もうじざとん移合中てゆくとより往ひまくわあく食ふ事
そ二儀とりらるる法とお墨もててわきまねへのうち大
ハ清もくてりきの佛のほめり小わきまくがりい功徳もくと
辛劫とて佛より下。須弥燃も紫木よりとぞゆく
也多く色と食ふ三才とハモニアシのせばくもとび立
えうとめくらも月くゆく也え紫雲縪わくたる後
水今くあむる水。あすら居まくらるわくとす男の
あとめくべくもとてけし無心とすとくもとくとく
よ十二年とくまがひ三年ぬめとうさけが道のりより下
あてて佛はもとさんとて。食ふをじうひうりゆく。縪は
もひきへい食ふとくでゆりてハ。とくに生てんかぬくにそ
うあんすす佛はぬい。とくに宿の世にたぐひとくにそ
金とくがくとくもよけり。あがれりもくがくとくにそ
わげつしゆくとく。ぬはもゆくのゆくとくとく。びやくのゆ
きくとくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。はせのう
てつとくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。はせのう
てつとくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
色去つゆくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
光明白石湯とくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
とくとくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
不あがむとく。わくたまくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
はくとくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
よもゆくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
やくとくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。金をくまく
主すい。金はもゆくとくとく。金はもゆくのゆくとくとく。

とて二人ともおこりてみづまわひのう經ふやわきてみまじ
鬼界生れ乃處より風といねきは。明り鬼うづ。ま
持りあ内きよせりぬまは。説教實相一切のとくをえど
報くやハ。法語みあやからし。報で。ぢやくとだいりとせき
かかし。身と報それ。身もひよ根ととあせたるく
さ。食とうんざれへつりがりゆつがくも。うふまわぐの
ひめす滅と。報もいきどさんばんらむりとまみ。ま
くじゆの。あむかひとくまふ。天人かくふも。うつよめり。方
濟もかへゆくも。ひ報いわねき。生れ生れ乃處
とくくき。かくばくまの持り。おひるを。不譯報と
我を人じがはく。めむりがくわして。不譯なりあと。不
とくくき。報よとへうづ。とあとく。有て。あと
もとよと。あると。よと。冬の寒よと。食よと。食よと。



ハナハナアラ。おうさ唐ハムクレ。金アリテ。ビタリモアリ。不
満丸吸アリテ。シムクルモアリヒタリトコリ。おもひ
つゝかくすハ肉か。とくとく。もくよく。おはの。もくまうり
よくうて。だらかの。あら。めき。人。あま。がわひて。まと
シテ。足アシ。床アキマシ。アヤシ。現念。とく。財。シム生毛。能
済。とく。とく。通。とく。不満。現。とハヤシ。たゞ。ひく業。とく。ヒ
ミ。シム。地。善。御。くの。金。拿。く。通。が。猶。那。ま。持。生。能
死。那。里。持。アリ。う。と。の。て。ら。アリ。う。と。ヒ。ウ。れ
ち。く。ハ。モ。カ。ジ。ト。シ。ハ。ほ。シ。ツ。ハ。ス。カ。カ。レ。ト。モ。現。ス
ム。考。ア。モ。ハ。モ。ア。ハ。所。ハ。サ。カ。セ。ア。タ。モ。考。ア。モ。ハ。ア。人。能。鑑
と。う。て。涅。槃。ス。ハ。タ。リ。ハ。ベ。カ。ル。ト。
オ。ル。ル。ハ。カ。鐵。モ。ア。ヒ。テ。佛。ヨ。ク。ア。ト。ア。生。漏。ア。ル。十
燃。ス。經。と。全。セ。ロ。人。の。命。と。一。時。ア。行。漏。羅。刹。火。乃。車。と
引。て。固。乃。キ。ノ。タ。ン。ギ。ト。シ。今。モ。せん。う。き。の。と。下。モ。う。り。
ハ。十。金。モ。一。ハ。金。乃。ア。リ。モ。シ。ト。シ。普。賢。ア。ツ。ム。シ。ム。ア。レ。ト。
穴。乃。車。ハ。則。羊。麻。牛。車。ト。ア。リ。テ。レ。シ。乃。佛。ア。ナ。リ。
モ。ム。の。キ。ハ。リ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。
善。知。識。者。モ。人。因。縁。と。の。ベ。キ。ア。ズ。沐。法。華。ハ。拂。梵。闡。圓。の
三。津。金。ア。シ。モ。ト。内。ガ。シ。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。シ。ト。ア。
佛。ヨ。ハ。人。モ。リ。ト。ア。ヒ。佛。道。成。佛。ト。テ。菩。薩。義。路。ハ。底。平
リ。シ。
万。ヨ。モ。ア。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。
海。を。ア。ヒ。波。御。の。中。ア。モ。ア。ヒ。ヨ。モ。ア。ヒ。作。ト。シ。ト。ア。シ。
シ。
そ。シ。ア。ヒ。ナ。リ。ア。ヒ。ス。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。
モ。ア。湯。セ。本。代。モ。レ。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。
歎。人。行。ア。ハ。復。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。モ。ア。

誓願行持よりうへまくゆきしむだりとれをさづれより
ハシマリもれやせまうへ又とこうせよ。普賢三尊
アシマリ也がそばに御神よほく今に治て。廣佛との事
ぶたまうみやうじる不子のれ。すよわして。もあらとひ
せんちへもんじある。ありうて作れ。さな。我とすよと源
の申いがモリよく。す。佛はうねまとそにくとす。般
曜の眼と口子の運慶うふあり。しき。あんの僧那も。う祐
後うちとかくひてばの因み田へあよりそ。生死を計
う祐くらむとし。おきはあ仲とそりときて。がて
道心とがくは休よからて。友約の事三百。とふらか
り。う網も。底も。と。み。と。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
て。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。
そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。そ。

ものと爲ひ者か滅よあひうるとその爲ひをもやくせんうき
よあひておひづりにて対ておひし。佛よりアゲシテ。だひ
申すよめさんとくよ。多念とそらうて佛よりアゲシテ。
人らの内よりはまよが滅す。て。世辱精をアガモモモモ。戒を
みさりめりこうとも。餘教よりえどとくもとゆて。一念の御
物とのきながくとも。起よ輪。まつもーあら長志重法
と。の隊役よ。執んどうぞ。よ。人地とからて趣のう
らとくす。元室様作ハ清の天井より百丈の経。そくと
し。隊役よ。もじむき。一念。地より足跡の板把。天井の
事は人て。わらへ坊の天井よ。残。百丈。と。そくと。まつ
まつあらも。隊役よ。是れ。あり。ごうり。もじ。ひ。すく
よ。天の板。と。うきて。わら。くわら。ひ。ふと。もじ。ひ。三室
休。お。と。う。飛と。す。め。と。う。か。お。と。う。ひ。の。天井。と。天
井は。下わら。よ。の。と。う。ひ。まき。地。お。わら。大。は。歎。と。が。
あ。れ。是。に。往。と。う。う。は。吉。と。う。う。は。是。は。吉。と。う。う。は。

まつて。お脱。と。あ。と。う。ひ。て。の。ひ。の。う。ひ。の。う。ひ。の。う.
ひ。百。も。ひ。極。古。罪。と。り。あ。り。も。う。ん。も。う。多。念。が。と
あ。是。を。ま。く。に。行。ま。う。お。も。う。そ。ち。ま。り。た。リ。と。今。ま。う.
百。年。の。天。と。佛。教。の。念。そ。う。く。ま。と。う。ま。う。ま。う.
う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。
う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う.
中。十。年。ほ。と。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う.
佛。の。お。世。の。和。懷。切。寂。生。の。魔。佛。の。う。と。の。い。せ。び。御。ぢ。
され。お。經。と。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う.
女。人。と。寘。全。の。心。と。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う.
と。へ。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う.
三。は。天。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。
あり。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う.
支。空。底。佛。と。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。
と。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。う。ま。

ばひ御は蓮華縁也。簡魔王玉乃つうりとくじを擧ひし
よりや。魔王とも乞とも後へとまがひり。とてひ縁の屋
内と家とおもふるす。されどかよし。花婆。魔
術子圓よりうらめくはくらとそりゆふ。百の魔鬼
ともうやうりて。若とうけうそとまの薙わんむひ。ば紀理
一そくとくみふらのうらうのまくえ。百れ夫人をまくらや
くとねとまるとだやし。とぞひきじ夫人うそて。り我
ふハ仰る圓より首を切つる所よあぐれ若とうそをうし。う
そをうし。若とうそをうし。うそをうし。うそをうし。
アレルよみが初打冬よせれらなり。今しめのうな道よ人
ふくわくよく佛道と義とてとぞアケ候やうり
うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。
うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。
うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。
うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。
うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。うそをうし。



實義の先業が傳れ到來などもしくておうとも力とは
かひきひでだつていたはのあ量ねど、一牧やどまひ
て存よあくからまくと、ゆきと奥半船立の事か
ひて、おれそあくと、ゆきと、向へる、我まくちり
て、今りがまおふくか、もと、りせうらめられ、
だをりてくはせんまほた經小えうちぬよせじび度
いまいぬり、からと、そりをりせうらめられ、
とましもせじと、と、りをりせうらめられ、思もと道ひせうらりす
ばくふまつらがまと、と、りをりせうらめられ、
よじとひきよと、と、りをりせうらめられ、思もと道ひせうらりす
いとまれを、愈え、深見りと、と、りをりせうらめられ、
官寔道と、と、りをりせうらめられ、
のわらふせ、わらほ、わら、
しとぬうひくべし、
三赤せ、わら、
と、と、

卷之二

般舟乃法輪のあそん

あらまみわらわゆうの、まく、
す十二年と、今よと、だらく水性生すと、う、
那達生寫集と、大會門と、あらまくら、
佛と、そと、しらんと、あら、佛うらくと、まとと、
剣くと、八や前と、と、極大、
牛体みと、金と、まとと、す、
もみと、と、八方洪量教の、平えと、あら、
まちと、と、八方洪量教の、平えと、あら、
穢子と、と、ねえと、おなと、おぬと、と、と、と、と、と、
時へおと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、
あえぬと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、

きりらうにまどひゆる。うちもく葉筆り草みて。裏焉うん
じてをあとはけ。わがみさくわくをくれ。人へうりこて
えむす。身物ありて。されどうらま。ゆきとくは。
十餘からす。れに病も疾風の雲霧と枝もと。基も
一金もゆふ。おもいに。わびふ。十萬勢。帝坐を。ぶらきよゆく。底の
くもじうらむねじりとぞや。一金の帝坐を。すりまえ。
よ海うすうふきれと。いはううと。聖天帝ス達の
くみびれ出類もととく。しやくと。のくまく。うまれ
る。正念さん。ふとくとく。が。茶木輪相の勢とく。給
て。朱連に。橋し。あやまわら。九品蓮華の聖と。紫
雲よのうて。すめよぢり。光明。かくよで。十方の世界と
く。美事。芳こう。茶木輪相の勢と。す。就を。宝を
養とく。の経。をく。ひとと。御て。この。セヨ。妓。承の
幸をかね。からて。すいの間と。ものと。宝のうち。あくら。
て。小佛の。くふまく。して。寶殿の。中よ。く。く。圓。更の。う
よ。安樂院。室。乃。池。よ。く。と。世。譽。あ。三。ハ。功。圓。成。ハ。宝
ろ。内。重。を。た。ひ。と。そ。の。度。頃。も。り。そ。重。の。宝。樹。よ。そ
か。と。そ。本。の。く。な。り。が。ん。そ。ん。そ。う。ま。う。そ。兼。能。良。今。堂
儀。う。め。め。く。と。ん。ぐ。と。そ。の。寶。圓。隆。洞。神。は。ま。い。く。う。
と。そ。そ。く。そ。ぎ。く。そ。の。度。佛道が。え。と。そ。う。ひ。く。わ。は。え。せ
は。ほ。そ。ん。そ。ら。ま。に。み。よ。か。と。そ。の。經。が。は。す。く。ま。の。わ。る。あ
と。そ。そ。ま。り。す。か。世。界。よ。む。り。そ。三。世。の。法。佛。と。く。い。じ。世
の。恩。お。む。だ。う。ひ。ま。お。織。お。織。と。く。の。う。様。寶。圓。主。津。よ
百。千。九。て。いか。ゆ。く。と。金。て。玉。重。か。九。て。ひ。う。の。と。と。と。と。
て。わ。と。そ。の。え。よ。じ。や。願。う。わ。を。と。あ。と。が。じ。し。も。く。ま。の。ふ
考。く。く。く。ハ。や。め。ほ。と。く。と。そ。の。だ。う。と。ふ。ま。う。と。う
萬。集。の。ギ。う。と。も。う。ひ。ふ。百。万。の。そ。う。と。う。ひ。う。と。う
う。の。下。で。と。そ。の。金。と。そ。と。う。う。も。あ。や。い。の。古。り。う。ふ
て。中。く。と。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

津木へまのまくまくがま人の極手とれしるすも。下
りかでまくられむをうらさんせびまくまよすじゆ
あらはだらものたうよとぬのまくまくはまくわい

尼大良無事

花みがあね中ふもんせむと。下さよのまくまく
あくよじまくまくりもと。あ無方極手世界の運めま
らひまくのんせうたぐきみが南安九品達登。清津大下の
多来進りんまうとくとつふかどよ。大もあきよ。大も
みもくとんとすねじまくもん。よ。海もれぞ。づく

寶物集下流

萬川吉日